



## サポートされている構成 Cloud Volumes ONTAP release notes

NetApp  
February 27, 2026

# 目次

サポートされている構成	1
AWSでサポートされているCloud Volumes ONTAP構成	1
サポートされるノード数	1
サポートされているストレージ	1
サポートされている EC2 コンピューティング	3
サポートされているリージョン	6
AzureでサポートされているCloud Volumes ONTAP構成	7
ライセンス別にサポートされる構成	7
サポートされているディスクサイズ	19
サポートされているリージョン	20
Google CloudでサポートされているCloud Volumes ONTAPの構成	20
ライセンス別にサポートされる構成	20
サポートされているディスクサイズ	24
サポートされているリージョン	24

# サポートされている構成

## AWSでサポートされているCloud Volumes ONTAP構成

AWS では、複数の Cloud Volumes ONTAP 構成がサポートされています。

### サポートされるノード数

Cloud Volumes ONTAP は、AWS では単一ノード システムとして、また、フォールトトレランスと中断のない運用を実現する高可用性 (HA) ノード ペアとして利用できます。

単一ノード システムを HA ペアにアップグレードすることはサポートされていません。単一ノード システムと HA ペアを切り替える場合は、新しいシステムを導入し、既存のシステムから新しいシステムにデータをレプリケートする必要があります。

### サポートされているストレージ

Cloud Volumes ONTAP は、いくつかの種類のエBS ディスク、およびデータ階層化用の S3 オブジェクト ストレージをサポートします。最大ストレージ容量は、選択したライセンスによって決まります。

### ライセンス別のストレージサポート

各ライセンスは異なる最大システム容量をサポートします。最大システム容量には、ディスクベースのストレージと、データ階層化に使用されるオブジェクト ストレージが含まれます。NetApp この制限を超えることはサポートされていません。

## 容量ベースのライセンス

	フリーミアム	容量ベースのライセンス
最大システム容量（ディスク+オブジェクトストレージ） <sup>1</sup>	500 GiB	柔軟 <sup>2</sup>
サポートされているディスクタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>汎用 SSD（gp3 および gp2）<sup>3,5</sup></li> <li>プロビジョニングされた IOPS SSD（io1）<sup>3</sup></li> <li>スループット最適化 HDD（st1）<sup>4</sup></li> </ul>	S3 へのコールドデータの階層化

### 注：

- HA ペアの場合、容量制限は HA ペア全体に適用されます。ノードごとではありません。たとえば、Premium ライセンスを使用する場合、両方のノード間で最大 368 TiB の容量を持つことができます。
- 一部の構成では、ディスク制限により、ディスクのみを使用して容量制限に到達できなくなります。このような場合は、"[非アクティブなデータをオブジェクトストレージに階層化する](#)"容量制限に到達できます。ディスク制限の詳細については、"[ストレージの制限](#)"を参照してください。

容量ベースのライセンスでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムでオブジェクト ストレージへの階層化がサポートされます。階層化された総容量は、クラウド プロバイダのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保するために "[FabricPoolのベストプラクティス](#)" に従う必要があります。

- すべてのCloud Volumes ONTAP構成でSSDを使用すると、書き込みパフォーマンスが向上します。
- スループット最適化 HDD（st1）を使用する場合、オブジェクト ストレージへのデータの階層化は推奨されません。
- AWS ローカルゾーンの Cloud Volumes ONTAP 構成では、汎用 SSD（gp2）ディスクタイプのみがサポートされます。AWS ローカルゾーンの Cloud Volumes ONTAP では、他のディスクタイプはサポートされていません。

## ノードベースのライセンス

	PAYGO Explore	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
最大システム容量（ディスク+オブジェクトストレージ）	2 TiB	10 TiB	368 TiB <sup>2</sup>	ライセンスあたり 368 TiB <sup>2</sup>

### 注：

- HA ペアの場合、容量制限は HA ペア全体に適用されます。ノードごとではありません。たとえば、Premium ライセンスを使用する場合、両方のノード間で最大 368 TiB の容量を持つことができます。

ます。

- 一部の構成では、ディスク制限により、ディスクのみを使用して容量制限に到達できなくなります。このような場合は、["非アクティブなデータをオブジェクトストレージに階層化する"](#)容量制限に到達できません。ディスク制限の詳細については、["ストレージの制限"](#)を参照してください。
- PAYGO Explore を除くすべての Cloud Volumes ONTAP 構成で SSD を使用すると、書き込みパフォーマンスが向上します。
- スループット最適化 HDD (st1) を使用する場合、オブジェクトストレージへのデータの階層化は推奨されません。
- Cloud Volumes ONTAP の AWS ローカルゾーンの構成では、汎用 SSD (gp2) ディスクタイプのみがサポートされます。

### サポートされているディスクサイズ

AWS では、アグリゲートには最大 6 個の同じサイズのディスクを含めることができます。ただし、Amazon EBS Elastic Volumes 機能をサポートする構成がある場合、アグリゲートには最大 8 個のディスクを含めることができます。["Elastic Volumes のサポートの詳細については、こちらをご覧ください"](#)

汎用 SSD (gp3 および gp2)	プロビジョニングされた IOPS SSD (io1)	スループット最適化 HDD (st1)
<ul style="list-style-type: none"><li>• 100 GiB</li><li>• 500 GiB</li><li>• 1 TiB</li><li>• 2 TiB</li><li>• 4 TiB</li><li>• 6 TiB</li><li>• 8 TiB</li><li>• 16 TiB</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 100 GiB</li><li>• 500 GiB</li><li>• 1 TiB</li><li>• 2 TiB</li><li>• 4 TiB</li><li>• 6 TiB</li><li>• 8 TiB</li><li>• 16 TiB</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 500 GiB</li><li>• 1 TiB</li><li>• 2 TiB</li><li>• 4 TiB</li><li>• 6 TiB</li><li>• 8 TiB</li><li>• 16 TiB</li></ul>

### サポートされている EC2 コンピューティング

各 Cloud Volumes ONTAP ライセンスは、さまざまな EC2 インスタンス タイプをサポートします。便宜上、以下の表に、サポートされている各インスタンス タイプの vCPU、RAM、帯域幅を示します ["EC2 インスタンスタイプに関する最新の完全な詳細については AWS を参照してください。"](#)

Cloud Volumes ONTAP は、リザーブド EC2 インスタンスまたはオンデマンド EC2 インスタンスのいずれかで実行できます。他のインスタンスタイプを使用するソリューションはサポートされていません。

以下の表に示す帯域幅は、各インスタンスタイプに記載されている AWS の制限と一致しています。これらの制限は、Cloud Volumes ONTAP が提供できるものと完全には一致しません。期待されるパフォーマンスについては、["NetApp テクニカルレポート4383：アプリケーションワークロードを使用したAmazon Web ServicesにおけるCloud Volumes ONTAPのパフォーマンス特性"](#)を参照してください。

ライセンス	サポートされているインスタンス	vCPU	RAM	Flash Cache <sup>1</sup>	ネットワーク帯域幅 (Gbps)	EBS 帯域幅 (Mbps)	高速書き込み速度 <sup>2</sup>
<b>Explore</b> またはその他のライセンス	m5.xlarge <sup>6</sup>	4	16	サポート対象外	最大10	最大4、750	サポートされています (単一ノードのみ)
* Standard ライセンス またはその他のライセンス*	r5.xlarge <sup>6</sup>	4	32	サポート対象外	最大10	最大4、750	サポートされています (単一ノードのみ)
	m5a.2xlarge	8	32	サポート対象外	最大10	最大2、880	サポート
	m5.2xlarge <sup>6</sup>	8	32	サポート対象外	最大10	最大4、750	サポート

ライセンス	サポートされているインスタンス	vCPU	RAM	Flash Cache <sup>1</sup>	ネットワーク帯域幅 (Gbps)	EBS 帯域幅 (Mbps)	高速書き込み速度 <sup>2</sup>
* Premium またはその他のライセンス*							



# AzureでサポートされているCloud Volumes ONTAP構成

Azure では、複数の Cloud Volumes ONTAP 構成がサポートされています。

## ライセンス別にサポートされる構成

Cloud Volumes ONTAP は、Azure では単一ノード システムとして、またフォールトトレランスと中断のない運用を実現する高可用性 (HA) ノード ペアとして利用できます。

単一ノード システムを HA ペアにアップグレードすることはサポートされていません。単一ノード システムと HA ペアを切り替える場合は、新しいシステムを導入し、既存のシステムから新しいシステムにデータをレプリケートする必要があります。

Cloud Volumes ONTAP は、クラウド プロバイダの予約済みまたはオンデマンドの VM インスタンスで実行できます。他の VM インスタンス タイプを使用するソリューションはサポートされていません。

サポートされているインスタンスの仕様については、"[Microsoft Azure ドキュメント](#)"を参照してください。

## シングルノードシステム

Azure で Cloud Volumes ONTAP を単一ノード システムとして導入する場合、以下の容量ベースまたはノードベースのライセンス構成から選択できます。

Cloud Volumes ONTAP は、クラウド プロバイダの予約済みまたはオンデマンドの VM インスタンスで実行できます。他の VM インスタンス タイプを使用するソリューションはサポートされていません。

容量ベースのライセンス

	フリーミアム	最適化 <sup>5</sup>	容量ベースのライセンス (Essentials および Professional)
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	500 GiB	容量ベースのライセンスでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムでオブジェクトストレージへの階層化がサポートされます。階層化された総容量は、クラウドプロバイダのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保するために "『FabricPoolのベストプラクティス』" に従う必要があります。	サポートされている仮想マシンのタイプ

	フリーミアム	最適化 <sup>5</sup>	容量ベースのライセンス (Essentials および Professional)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS5_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS14_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2<sup>1</sup></li> <li>• E4s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E32s_v3<sup>1,3</sup></li> <li>• E48s_v3<sup>1,3</sup></li> <li>• E64is_v3<sup>1,3</sup></li> <li>• E4ds_v4</li> <li>• E8ds_v4</li> <li>• E32ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E80ids_v4<sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E64ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E20ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E32ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E48ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E64ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• L8s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L16s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L32s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L48s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L64s_v3<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2<sup>1</sup></li> <li>• E4s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E4ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E8ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E8ds_v5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS5_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS14_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2<sup>1</sup></li> <li>• E4s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E32s_v3<sup>1,3</sup></li> <li>• E48s_v3<sup>1,3</sup></li> <li>• E64is_v3<sup>1,3</sup></li> <li>• E4ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E8ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E80ids_v4<sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E64ds_v5<sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E20ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E32ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E48ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• E64ds_v6<sup>6</sup></li> <li>• L8s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L16s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L32s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L48s_v3<sup>2</sup></li> <li>• L64s_v3<sup>2</sup></li> </ul>	サポートされているディスクタイプ <sup>4</sup>

注：

1. <sup>1</sup> DS\_v2およびEs\_v3マシンファミリーは、AzureでCloud Volumes ONTAPの新しいインスタンスを

導入する際にNetApp Consoleで選択できなくなりました。これらのファミリーは、古い既存のシステムでのみ保持され、サポートされます。Cloud Volumes ONTAPの新規導入は、Azureでは9.12.1リリース以降でのみサポートされます。Es\_v4またはCloud Volumes ONTAP 9.12.1以降と互換性のある他のシリーズに切り替えることをお勧めします。ただし、DS\_v2およびEs\_v3シリーズのマシンは、APIを通じて行われる新規導入には使用できません。

- このVMタイプにはローカルNVMeストレージが含まれており、Cloud Volumes ONTAPは *Flash Cache* として使用します。Flash Cacheは、最近読み取られたユーザーデータとNetAppメタデータのリアルタイムのインテリジェントなキャッシュにより、データへのアクセスを高速化します。これは、データベース、Eメール、ファイルサービスなどのランダム読み取り集中型のワークロードに効果的です ["詳細情報"](#)。

Azure で Flash Cache を設定するために必要な最小 ONTAP バージョンは 9.13.1 GA です。

- これらのVMタイプは、VNVRAM に **"Ultra SSD"**を使用するため、書き込みパフォーマンスが向上します。

新しい Cloud Volumes ONTAP システムを導入する際にこれらの VM タイプのいずれかを選択した場合、VNVRAM に Ultra SSD を使用しない別の VM タイプに変更することはできません。たとえば、E8ds\_v4 から E8s\_v3 に変更することはできませんが、E8ds\_v4 から E32ds\_v4 に変更することはできます。これは、これらの VM タイプは両方とも Ultra SSD を使用しているためです。逆に、他の VM タイプを使用して Cloud Volumes ONTAP を導入した場合は、VNVRAM に Ultra SSD を使用する別の VM タイプに変更することはできません。たとえば、VNVRAM に Ultra SSD を使用しない E8s\_v3 を、使用する E8ds\_v4 に変更することはできません。

同様に、Premium SSD v2 Managed Disksの **"基準"**を満たす環境にPremium SSD Managed Disksを選択した場合、NetApp ConsoleはPremium SSD v2 Managed Disksを自動的にデプロイします。Premium SSD v1 Managed Disksに切り替えることはできません。

- 単一ノード展開でサポートされているディスクの種類については、**"Azure (単一ノード)"**を参照してください。単一ノードシステムを使用する場合、すべてのインスタンスタイプで高速書き込み速度がサポートされます。デプロイメント中またはデプロイメント後のいつでも、NetApp Consoleから高速書き込み速度を有効にすることができます ["書き込み速度の選択について詳しくはこちら"](#)。SSDを使用すると、書き込みパフォーマンスが向上します。
- 2025年8月11日から、Cloud Volumes ONTAP Optimizedライセンスは廃止され、従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションのAzureマーケットプレイスでの購入または更新ができなくなります。詳細については、**"最適化ライセンスの提供終了"**を参照してください。
- Edsv6 VMタイプは、Cloud Volumes ONTAP 9.17.1以降の新しい導入でサポートされています。既存の導入を他のVMタイプに切り替えることはできません (例: Edsv5からEdsv6)。サポートされるのは、Edsv6バリエーション間のサイズ変更 (例: E20ds\_v6 → E32ds\_v6) のみです。このVMタイプの詳細については、**"Azure ドキュメント: Edsv6 サイズ シリーズ"**を参照してください。

#### ノードベースのライセンス

	PAYGO Explore	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	2 TiB <sup>5</sup>	10 TiB	368 TiB	ライセンスあたり368 TiB

	PAYGO Explore	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
サポートされている仮想マシンのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E4s_v3 <sup>1</sup></li> <li>• E4ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E4ds_v6 <sup>6</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2 <sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3 <sup>1</sup></li> <li>• E8ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• L8s_v3 <sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS5_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS14_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2 <sup>1</sup></li> <li>• E32s_v3 <sup>1,3</sup></li> <li>• E48s_v3 <sup>1,3</sup></li> <li>• E64is_v3 <sup>1,3</sup></li> <li>• E32ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E80ids_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E20ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E64ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E20ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E32ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E48ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E64ds_v6 <sup>6</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS5_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS14_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2 <sup>1</sup></li> <li>• E4s_v3 <sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3 <sup>1</sup></li> <li>• E32s_v3 <sup>1,3</sup></li> <li>• E48s_v3 <sup>1,3</sup></li> <li>• E64is_v3 <sup>1,3</sup></li> <li>• E4ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E8ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E80ids_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E48ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E64ds_v5 <sup>3</sup></li> <li>• E4ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E20ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E32ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E48ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E64ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• L8s_v3 <sup>2</sup></li> <li>• L16s_v3 <sup>2</sup></li> <li>• L32s_v3 <sup>2</sup></li> <li>• L48s_v3 <sup>2</sup></li> <li>• L64s_v3 <sup>2</sup></li> </ul>
サポートされているディスクタイプ <sup>4</sup>	Standard HDD Managed Disks、Standard SSD Managed Disks、Premium SSD Managed Disks			

注：

1. <sup>1</sup> DS\_v2およびEs\_v3マシンファミリーは、AzureでCloud Volumes ONTAPの新しいインスタンスを展開するときにコンソールで選択できなくなりました。これらのファミリーは、古い既存のシステムでのみ保持され、サポートされます。Cloud Volumes ONTAPの新たな展開は、Azureでは9.12.1リリース以降でのみサポートされます。Es\_v4またはCloud Volumes ONTAP 9.12.1以降と互換性のある他のシリーズに切り替えることをお勧めします。ただし、DS\_v2およびEs\_v3シリーズのマシンは、APIを通じて行われる新しいデプロイメントに使用できます。
2. <sup>2</sup> このVMタイプにはローカルNVMeストレージが含まれており、Cloud Volumes ONTAPは *Flash Cache* として使用します。Flash Cacheは、最近読み取られたユーザーデータとNetAppメタデータのリアルタイムのインテリジェントなキャッシュにより、データへのアクセスを高速化します。これは、データベース、Eメール、ファイルサービスなどのランダム読み取り集中型のワークロードに効果的です ["詳細情報"](#)。
3. <sup>3</sup> これらのVMタイプは、VNVRAM に **"Ultra SSD"**を使用するため、書き込みパフォーマンスが向上します。

新しい Cloud Volumes ONTAP システムを導入する際にこれらの VM タイプのいずれかを選択した場合、VNVRAM に Ultra SSD を使用しない別の VM タイプに変更することはできません。たとえば、E8ds\_v4 から E8s\_v3 に変更することはできませんが、E8ds\_v4 から E32ds\_v4 に変更することはできます。これは、これらの VM タイプは両方とも Ultra SSD を使用しているためです。逆に、他の VM タイプを使用して Cloud Volumes ONTAP を導入した場合は、VNVRAM に Ultra SSD を使用する別の VM タイプに変更することはできません。たとえば、VNVRAM に Ultra SSD を使用しない E8s\_v3 を、使用する E8ds\_v4 に変更することはできません。

同様に、Premium SSD v2 Managed Disksの **"基準"**を満たす環境にPremium SSD Managed Disksを選択した場合、NetApp ConsoleはPremium SSD v2 Managed Disksを自動的にデプロイします。Premium SSD v1 Managed Disksに切り替えることはできません。

4. <sup>4</sup> 単一ノード システムを使用する場合、すべてのインスタンス タイプで高速書き込み速度がサポートされます。デプロイメント中またはデプロイメント後のいつでも、Console から高速書き込み速度を有効にすることができます ["書き込み速度の選択について詳しくはこちら"](#)。SSD を使用すると、書き込みパフォーマンスが向上します。
5. <sup>5</sup> PAYGO Explore では、Azure Blob ストレージへのデータ階層化はサポートされていません。
6. <sup>6</sup> Edsv6 VMタイプは、Cloud Volumes ONTAP 9.17.1以降の新しい導入でサポートされています。既存の導入を他のVMタイプに切り替えることはできません（例：Edsv5からEdsv6）。サポートされるのは、Edsv6バリエーション間のサイズ変更（例：E20ds\_v6 → E32ds\_v6）のみです。このVMタイプの詳細については、["Azure ドキュメント：Edsv6 サイズ シリーズ"](#)を参照してください。

## HAペア

Azure で Cloud Volumes ONTAP を HA ペアとして導入する際に、以下の構成から選択できます。

共有管理ディスクを備えたHAペア

Azure で Cloud Volumes ONTAP を HA ペアとして導入する際に、以下の構成から選択できます。

容量ベースのライセンス

	フリーミアム	最適化済み <sup>7</sup>	容量ベースのライセンス (Essentials および Professional)
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	500 GiB	容量ベースのライセンスでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムでオブジェクトストレージへの階層化がサポートされます。階層化された総容量は、クラウドプロバイダのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保するために「『FabricPoolのベストプラクティス』」に従う必要があります。	サポートされている仮想マシンのタイプ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• E8ds_v4</li> <li>• E32ds_v4<sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v4<sup>1</sup></li> <li>• E80ids_v4<sup>1,2</sup></li> <li>• E8ds_v5<sup>4</sup></li> <li>• E20ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E32ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E48ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E64ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E20ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• E32ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• E48ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• E64ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• L8s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L16s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L32s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L48s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L64s_v3<sup>1,3,5</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E8ds_v4</li> <li>• E8ds_v5<sup>4</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E8ds_v4</li> <li>• E32ds_v4<sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v4<sup>1</sup></li> <li>• E80ids_v4<sup>1,2</sup></li> <li>• E8ds_v5<sup>4</sup></li> <li>• E20ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E32ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E48ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E64ds_v5<sup>1,4</sup></li> <li>• E20ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• E32ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• E48ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• E64ds_v6<sup>8</sup></li> <li>• L8s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L16s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L32s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L48s_v3<sup>1,3,5</sup></li> <li>• L64s_v3<sup>1,3,5</sup></li> </ul>	サポートされているディスクタイプ <sup>6</sup>

注：

1. <sup>1</sup> Cloud Volumes ONTAP は、HAペアを使用する場合、これらのVMタイプで高速書き込みをサポートします。デプロイメント中またはデプロイメント後のいつでも、NetApp Consoleから高速書き込み速度を有効にすることができます ["書き込み速度の選択について詳しくはこちら"](#)。
2. <sup>2</sup> この VM は、Azure メンテナンス制御が必要な場合にのみ推奨されます。価格が高いため、他の用途にはお勧めできません。
3. <sup>3</sup> 複数のアベイラビリティゾーンのサポートはONTAPバージョン9.13.1から開始されます。
4. <sup>4</sup> 複数のアベイラビリティゾーンのサポートは ONTAP バージョン 9.14.1 RC1 から開始されます。
5. <sup>5</sup> このVMタイプにはローカルNVMeストレージが含まれており、Cloud Volumes ONTAPはこれを `_Flash Cache_` として使用します。Flash Cacheは、最近読み取られたユーザーデータおよびNetAppメタデータのリアルタイムインテリジェントキャッシュによってデータへのアクセスを高速化します。これは、データベース、メール、ファイルサービスなどのランダムリード集約型ワークロードに効果的です。 ["詳細情報"](#)。
6. <sup>6</sup> Premium SSD Managed Disksを、 ["基準"](#) を満たす環境に選択した場合、NetApp Console はPremium SSD v2 Managed Disksを自動的にデプロイします。Premium SSD v1 Managed Disksに切り替えることはできません。単一および複数のアベイラビリティゾーンのHA展開のシステムデータ用の内部ディスクの詳細については、 ["Azure \(HAペア\)"](#) を参照してください。
7. <sup>7</sup> 2025年8月11日から、Cloud Volumes ONTAP Optimizedライセンスは廃止され、Azureマーケットプレイスで従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションの購入または更新ができなくなります ["最適化ライセンスの提供終了"](#)。
8. <sup>8</sup> Edsv6 VMタイプは、Cloud Volumes ONTAP 9.17.1以降の新しい導入でサポートされています。既存の導入を他のVMタイプに切り替えることはできません (例: Edsv5からEdsv6)。サポートされるのは、Edsv6バリエーション間のサイズ変更 (例: E20ds\_v6 → E32ds\_v6) のみです。このVMタイプの詳細については、 ["Azure ドキュメント: Edsv6 サイズ シリーズ"](#) を参照してください。

#### ノードベースのライセンス

	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	10 TiB	368 TiB	ライセンスあたり368 TiB

	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
サポートされている仮想マシンのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E8ds_v4 <sup>4</sup></li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• L8s_v3 <sup>4,5</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E32ds_v4 <sup>1,4</sup></li> <li>• E48ds_v4 <sup>1,4</sup></li> <li>• E80ids_v4 <sup>1,2,4</sup></li> <li>• E20ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E64ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E20ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E32ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E48ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E64ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• L16s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> <li>• L32s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> <li>• L48s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> <li>• L64s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E8ds_v4 <sup>4</sup></li> <li>• E32ds_v4 <sup>1,4</sup></li> <li>• E48ds_v4 <sup>1,4</sup></li> <li>• E80ids_v4 <sup>1,2,4</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E64ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E20ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E32ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E48ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• E64ds_v6 <sup>6</sup></li> <li>• L16s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> <li>• L32s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> <li>• L48s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> <li>• L64s_v3 <sup>1,4,5</sup></li> </ul>
サポートされているディスクタイプ	Premium SSD マネージドディスクまたは Premium SSD v2 マネージドディスク。		

注：

1. <sup>1</sup> Cloud Volumes ONTAP は、HAペアを使用する場合、これらのVMタイプで高速書き込みをサポートします。デプロイメント中またはデプロイメント後のいつでも、NetApp Consoleから高速書き込み速度を有効にすることができます ["書き込み速度の選択について詳しくはこちら"](#)。
2. <sup>2</sup> この VM は、Azure メンテナンス制御が必要な場合にのみ推奨されます。価格が高いため、他の用途にはお勧めできません。
3. <sup>3</sup> これらの VM タイプは、共有管理ディスク上で実行されている単一の可用性ゾーン構成の HA ペアでのみサポートされます。
4. <sup>4</sup> これらの VM タイプは、共有マネージド ディスク上で実行される単一の可用性ゾーンおよび複数の可用性ゾーン構成の HA ペアでサポートされます。Ls\_v3 VM タイプの場合、複数のアベイラビリティゾーンのサポートは ONTAP バージョン 9.13.1 から開始されます。Eds\_v5 VM タイプでは、複数のアベイラビリティゾーンのサポートは ONTAP バージョン 9.14.1 RC1 から開始されます。
5. <sup>5</sup> このVMタイプにはローカルNVMeストレージが含まれており、Cloud Volumes ONTAPはこれを `_Flash Cache_` として使用します。Flash Cacheは、最近読み取られたユーザーデータおよびNetAppメタデータのリアルタイムインテリジェントキャッシュによってデータへのアクセスを高速化します。これは、データベース、メール、ファイルサービスなどのランダムリード集約型ワークロードに効果的です。 ["詳細情報"](#)。
6. <sup>6</sup> Edsv6 VMタイプは、Cloud Volumes ONTAP 9.17.1以降の新しい導入でサポートされています。既

存の導入を他のVMタイプに切り替えることはできません（例：Edsv5からEdsv6）。サポートされるのは、Edsv6バリエーション間のサイズ変更（例：E20ds\_v6 → E32ds\_v6）のみです。このVMタイプの詳細については、"[Azure ドキュメント：Edsv6 サイズ シリーズ](#)"を参照してください。

ページブロッブを使用したHAペア

Azure の既存の Cloud Volumes ONTAP HA ページ BLOB 導入環境では、次の構成を使用できます。



Azure ページ BLOB は、新しい導入ではサポートされていません。

容量ベースのライセンス

	フリーミアム	最適化済み <sup>4</sup>	容量ベースのライセンス (Essentials および Professional)
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	500 GiB	容量ベースのライセンスでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムでオブジェクト ストレージへの階層化がサポートされます。階層化された総容量は、クラウド プロバイダのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保するために "『FabricPool のベストプラクティス』" に従う必要があります。	サポートされている仮想マシンのタイプ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS5_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2</li> <li>• DS14_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2<sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3</li> <li>• E48s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E8ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v4<sup>1,3</sup></li> <li>• E48ds_v4<sup>1,3</sup></li> <li>• E80ids_v4<sup>1,2,3</sup></li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5<sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v5<sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v5<sup>1</sup></li> <li>• E64ds_v5<sup>1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS13_v2</li> <li>• E8s_v3</li> <li>• E8ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E8ds_v5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS5_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2</li> <li>• DS14_v2<sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2<sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3</li> <li>• E48s_v3<sup>1</sup></li> <li>• E8ds_v4<sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v4<sup>1,3</sup></li> <li>• E48ds_v4<sup>1,3</sup></li> <li>• E80ids_v4<sup>1,2,3</sup></li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5<sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v5<sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v5<sup>1</sup></li> <li>• E64ds_v5<sup>1</sup></li> </ul>	サポートされているディスクタイプ

注：

1. <sup>1</sup> Cloud Volumes ONTAP は、HAペアを使用する場合、これらのVMタイプで高速書き込みをサポート

トします。デプロイメント中またはデプロイメント後のいつでも、NetApp Consoleから高速書き込み速度を有効にすることができます ["書き込み速度の選択について詳しくはこちら"](#)。

2. <sup>2</sup> この VM は、Azure メンテナンス制御が必要な場合にのみ推奨されます。価格が高いため、他の用途にはお勧めできません。
3. <sup>3</sup> これらのVMは、Cloud Volumes ONTAP 9.11.1以前の導入でのみサポートされます。これらのVMタイプを使用すると、既存のページBLOB導入をCloud Volumes ONTAP 9.11.1から9.12.1にアップグレードできます。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1以降では、新しいページBLOB導入を実行できません。
4. <sup>4</sup> 2025年8月11日から、Cloud Volumes ONTAP Optimizedライセンスは廃止され、Azureマーケットプレイスで従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションの購入または更新ができなくなります。詳細については、["最適化ライセンスの提供終了"](#)を参照してください。

#### ノードベースのライセンス

	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	10 TiB	368 TiB	ライセンスあたり368 TiB
サポートされている仮想マシンのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS13_v2</li> <li>• E8s_v3</li> <li>• E8ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E8ds_v5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS5_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS14_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2 <sup>1</sup></li> <li>• E48s_v3 <sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v4 <sup>1,3</sup></li> <li>• E48ds_v4 <sup>1,3</sup></li> <li>• E80ids_v4 <sup>1,2,3</sup></li> <li>• E20ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E64ds_v5 <sup>1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS5_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS13_v2</li> <li>• DS14_v2 <sup>1</sup></li> <li>• DS15_v2 <sup>1</sup></li> <li>• E8s_v3</li> <li>• E48s_v3 <sup>1</sup></li> <li>• E8ds_v4 <sup>3</sup></li> <li>• E32ds_v4 <sup>1,3</sup></li> <li>• E48ds_v4 <sup>1,3</sup></li> <li>• E80ids_v4 <sup>1,2,3</sup></li> <li>• E4ds_v5</li> <li>• E8ds_v5</li> <li>• E20ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E32ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E48ds_v5 <sup>1</sup></li> <li>• E64ds_v5 <sup>1</sup></li> </ul>
サポートされているデータディスクタイプ	ページ BLOB		

注：

1. <sup>1</sup> Cloud Volumes ONTAP は、HAペアを使用する場合、これらのVMタイプで高速書き込みをサポートします。デプロイメント中またはデプロイメント後のいつでも、NetApp Consoleから高速書き込み速度を有効にすることができます ["書き込み速度の選択について詳しくはこちら"](#)。

2. <sup>2</sup> この VM は、Azure メンテナンス制御が必要な場合にのみ推奨されます。価格が高いため、他の用途にはお勧めできません。
3. <sup>3</sup> これらの VM は、Cloud Volumes ONTAP 9.11.1以前の導入でのみサポートされます。これらのVMタイプを使用すると、既存のページBLOB導入をCloud Volumes ONTAP 9.11.1から9.12.1にアップグレードできます。Cloud Volumes ONTAP 9.12.1以降では、新しいページBLOB導入を実行できません。

## サポートされているディスクサイズ

Azure では、アグリゲートには、すべて同じタイプとサイズのディスクを最大 12 個まで含めることができます。

### シングルノードシステム

単一ノードシステムでは、Azure Managed Disks が使用されます。次のディスクサイズがサポートされています：

プレミアムSSD	標準SSD	標準 HDD
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1 TiB</li> <li>• 2 TiB</li> <li>• 4 TiB</li> <li>• 8 TiB</li> <li>• 16 TiB</li> <li>• 32 TiB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100 GiB</li> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1 TiB</li> <li>• 2 TiB</li> <li>• 4 TiB</li> <li>• 8 TiB</li> <li>• 16 TiB</li> <li>• 32 TiB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100 GiB</li> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1 TiB</li> <li>• 2 TiB</li> <li>• 4 TiB</li> <li>• 8 TiB</li> <li>• 16 TiB</li> <li>• 32 TiB</li> </ul>

### HAペア

HA ペアは Azure Managed Disks を使用します。次のディスクタイプとサイズがサポートされています。

(ページ BLOB は、9.12.1 リリースより前に導入された HA ペアでサポートされます。)

### プレミアムSSD

- 500 GiB
- 1 TiB
- 2 TiB
- 4 TiB
- 8 TiB
- 16 TiB (マネージドディスクのみ)
- 32 TiB (マネージドディスクのみ)

## サポートされているリージョン

Azureリージョンのサポートについては、"[Cloud Volumes のグローバルリージョン](#)"を参照してください。

## Google CloudでサポートされているCloud Volumes ONTAPの構成

Google Cloud では、複数の Cloud Volumes ONTAP 構成がサポートされています。

### ライセンス別にサポートされる構成

Cloud Volumes ONTAP は、Google Cloud では、単一ノード システムとして、またフォールトトレランスと無停止運用を実現する高可用性 (HA) ノード ペアとして利用できます。

単一ノード システムを HA ペアにアップグレードすることはサポートされていません。単一ノード システムと HA ペアを切り替える場合は、新しいシステムを展開し、既存のシステムから新しいシステムにデータを複製する必要があります。

Cloud Volumes ONTAP は、クラウド プロバイダの予約済みまたはオンデマンドの VM インスタンスで実行できます。他の VM インスタンス タイプを使用するソリューションはサポートされていません。

容量ベースのライセンス

	フリーミアム	最適化済み <sup>4</sup>	容量ベースのライセンス (Essentials および Professional)
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	500 GiB	容量ベースのライセンスでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムでオブジェクトストレージへの階層化がサポートされます。階層化された総容量は、クラウドプロバイダのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保するために "『FabricPoolのベストプラクティス』" に従う必要があります。	サポートされているマシンタイプ <sup>1</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• n1-standard-8<sup>1</sup></li> <li>• n1-standard-32<sup>1</sup></li> <li>• n2-standard-4</li> <li>• n2-standard-8</li> <li>• n2-standard-16</li> <li>• n2-standard-32</li> <li>• n2-standard-48</li> <li>• n2-standard-64</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• n2-standard-4</li> <li>• n2-standard-8</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• n1-standard-8<sup>1</sup></li> <li>• n1-standard-32<sup>1</sup></li> <li>• n2-standard-4</li> <li>• n2-standard-8</li> <li>• n2-standard-16</li> <li>• n2-standard-32</li> <li>• n2-standard-48</li> <li>• n2-standard-64</li> </ul>	サポートされているディスクタイプ <sup>2</sup>

注：

1. <sup>1</sup> n1シリーズのマシンは、Google CloudでCloud Volumes ONTAPの新しいインスタンスを導入する際にNetApp Consoleで選択できなくなりました。n1シリーズのマシンは、古い既存のシステムでのみ保持され、サポートされます。Cloud Volumes ONTAPの新規導入は、Google Cloudでは9.8リリース以降でのみサポートされます。Cloud Volumes ONTAP 9.8以降と互換性のあるn2シリーズのマシンに切り替えることを推奨します。ただし、n1シリーズのマシンは、APIを通じて行われる新規導入では使用可能です。

custom-4-16384マシンタイプは、新しいCloud Volumes ONTAPシステムではサポートされなくなりました。このマシンタイプで既存のシステムを実行している場合は、引き続き使用できますが、n2-standard-4マシンタイプに切り替えることをお勧めします。

2. <sup>2</sup> ディスク制限により、ディスクのみを使用してシステムの最大容量制限に達することができない場合があります。容量制限に達するには "非アクティブなデータをオブジェクトストレージに階層化す

る"を使用します。

"[Google Cloud のディスク制限について詳しく見る](#)".

3. <sup>3</sup> バランス永続ディスクとパフォーマンス (SSD) 永続ディスクを使用すると、強化された書き込みパフォーマンスが有効になります。

Cloud Volumes ONTAP 9.13.0 以降、*Flash Cache*、高速書き込み速度、および 8,896 バイトのより高い最大転送単位 (MTU) が、次の HA ペア展開インスタンスで使用できます：

- n2-standard-16
- n2-standard-32
- n2-standard-48
- n2-standard-64

対象となるインスタンスタイプを導入する際に、Flash Cacheと高速書き込みを有効にできます。8,896バイトの高い最大伝送単位を有効にするには、導入時にVPC-1、VPC-2、またはVPC-3を選択する必要があります。MTUが高いほど、ネットワークスループットが向上します。これらの導入の起動の詳細については、"[Google Cloud で HA ペアを起動する](#)"を参照してください。



*Flash Cache*、高書き込みモード、および8,896のMTUは機能に依存しており、構成されたインスタンス内で個別に無効にすることはできません。

4. <sup>4</sup> 2025年8月11日から、Cloud Volumes ONTAP Optimizedライセンスは廃止され、Google Cloud Marketplaceでの従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションの購入や更新ができなくなります。詳細については、"[Cloud Volumes ONTAP の新機能](#)"を参照してください。

#### ノードベースのライセンス

	PAYGO Explore	PAYGO Standard	PAYGO Premium	ノードベースのBYOL
最大システム容量 (ディスク+オブジェクトストレージ)	2 TB <sup>2</sup>	10 TiB	368 TiB	ライセンスあたり368 TiB
サポートされているマシンタイプ <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ n2-standard-4</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ n1-standard-8 <sup>3</sup></li><li>◦ n2-standard-8</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ n1-standard-32</li><li>◦ n2-standard-16</li><li>◦ n2-standard-32</li><li>◦ n2-standard-48</li><li>◦ n2-standard-64</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ n1-standard-8 <sup>3</sup></li><li>◦ n1-standard-32</li><li>◦ n2-standard-4</li><li>◦ n2-standard-8</li><li>◦ n2-standard-16</li><li>◦ n2-standard-32</li><li>◦ n2-standard-48</li><li>◦ n2-standard-64</li></ul>
サポートされているディスクタイプ	バランス永続ディスク <sup>4</sup> 、パフォーマンス (SSD) 永続ディスク <sup>4</sup> 、および標準 (HDD) 永続ディスク。			

注：

1. <sup>1</sup> ディスク制限により、ディスクのみを使用してシステムの最大容量制限に達するのを防ぐことができます。容量制限に達するには ["非アクティブなデータをオブジェクトストレージに階層化する"](#)。

["Google Cloud のディスク制限について詳しく見る"](#)。

2. <sup>2</sup> Google Cloud Storage へのデータ階層化は PAYGO Explore ではサポートされていません。
3. <sup>3</sup> n1シリーズのマシンは、Google CloudでCloud Volumes ONTAPの新しいインスタンスを導入する際に、コンソールで選択できなくなりました。n1シリーズのマシンは、古い既存のシステムでのみ保持され、サポートされます。Cloud Volumes ONTAPの新規導入は、Google Cloudでは9.8リリース以降でのみサポートされます。Cloud Volumes ONTAP 9.8以降と互換性のあるn2シリーズのマシンに切り替えることをお勧めします。ただし、n1シリーズのマシンは、APIを通じて実行される新規導入には使用できます。

custom-4-16384マシンタイプは、新しいCloud Volumes ONTAPシステムではサポートされなくなりました。このマシンタイプで既存のシステムを実行している場合は、引き続き使用できますが、n2-standard-4マシンタイプに切り替えることをお勧めします。

4. <sup>4</sup> バランス永続ディスクとパフォーマンス（SSD）永続ディスクを使用すると、強化された書き込みパフォーマンスが有効になります。

NetApp Consoleには、StandardおよびBYOLでサポートされている追加のマシンタイプn1-highmem-4が表示されます。ただし、このマシンタイプは本番環境向けではありません。特定のラボ環境でのみ利用できるようにしました。

Cloud Volumes ONTAPソフトウェアバージョン9.13.0以降、*Flash Cache*、高速書き込み速度、および8,896バイトのより高い最大転送単位（MTU）が、次のHAペア導入インスタンスで利用できます：

- n2-standard-16
- n2-standard-32
- n2-standard-48
- n2-standard-64

対象となるインスタンスタイプを導入する際に、Flash Cacheと高速書き込みを有効にできます。8,896バイトの高い最大伝送単位を有効にするには、導入時にVPC-1、VPC-2、またはVPC-3を選択する必要があります。MTUが高いほど、ネットワークスループットが向上します。これらの導入の起動の詳細については、["Google Cloud で HA ペアを起動する"](#)を参照してください。



*Flash Cache*、高書き込みモード、および8,896のMTUは機能に依存しており、構成されたインスタンス内で個別に無効にすることはできません。

特定のマシンタイプの詳細については、Google Cloud のドキュメントを参照してください：

- ["n1シリーズ汎用マシンタイプ"](#)
- ["N2シリーズ汎用マシンタイプ"](#)

## サポートされているディスクサイズ

Google Cloudでは、アグリゲートにはタイプとサイズがすべて同じ最大6個のディスクを含めることができます。次のディスクサイズがサポートされています：

- 100 GB
- 500 GB
- 1 TB
- 2 TB
- 4 TB
- 8 TB
- 16 TB
- 64 TB

## サポートされているリージョン

Google Cloud のリージョンサポートについては、"[Cloud Volumes のグローバルリージョン](#)"を参照してください。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。